

# 千葉県女性のためのつながりサポート事業【千葉市】

総事業費	14,638 千円
交付金額	10,697 千円

## 地域の実情と課題

男女共同参画センターでの女性相談の相談者の年齢構成は、多くが30代～60代であり、10代、20代の方の相談に十分に感じられていない。  
 また、令和3年度に実施した経験を踏まえ、コロナ下で困難・不安を抱える女性を継続的に支援する必要がある。

## 目的・目標

社会との絆・つながりが薄くなり不安を抱えている女性には寄り添った支援が必要であることから、相談機関につながるチャンネルを増やし安心して寄り添った相談・支援ができるよう事業を実施する。また、アウトリーチ型支援や同行支援を実施し、行政だけでは発見できない困難を抱えた女性の支援につなげる。また、女性専門家による相談会を実施する。  
**【事業目標】**  
 SNS相談の相談人数 (目標) 500人 → (実績) 451人  
 アウトリーチした人数 (目標) 130人 → (実績) 96人

## 事業の特徴

NPO等の民間団体が自ら様々な課題・困難を抱えた女性に積極的に赴き、相談に応じるアウトリーチ型支援等、行政では対応が難しいきめ細かい支援を実施している。  
 また、女性による女性のための相談会については、女性専門家（弁護士・臨床心理士・助産師等）による相談会をJR千葉駅構内の利用しやすい場所で行った。

## 連携団体

**千葉県男女共同参画センター**  
 当該事業の周知をチャットボットを活用して行い、連携を図った。  
**生活自立・仕事相談センター**  
 交付金事業のSNS相談や電話、訪問、アウトリーチ（訪問支援）をした結果、支援が必要な方を案内した。

## 事業の効果

目標として設定した件数以上の相談が寄せられた。コロナ下で孤独を感じ、社会的に孤立している方に対して、NPO等の知見や能力を活用して、アウトリーチ型支援（訪問・相談支援）や寄り添った支援のための居場所の提供など、NPO等が得意とする行政だけでは手が届きにくい支援が実施できた。  
 また、相談会については67人が利用し、利用者の満足度は高かった。

## 今後の課題

- 相談者の住所区が、委託事業者の住所区に偏っており、全市的に広がっていない。
- 寄せられた相談に適切に対応できるよう、外部の関係団体と連携を強化する必要がある。
- 福祉部門等の庁内連携について、検討する必要がある。

# 事業の概要

